

時を表す名詞を主名詞とする名詞修飾表現について

高橋 美奈子（四天王寺大学）

0. はじめに

時間に関する名詞が節による修飾を受けて形成されている名詞修飾表現（名詞修飾節＋時間に関する名詞）としては、いわゆる「内の関係」のものと、「相対補充節＋時間に関する相対名詞」のものが知られている。しかし、そのほかのものはないのだろうか。

ここでは、時間に関する名詞が受ける修飾のありようについて考えてみたい。

以後の議論のために、本稿での、節による名詞修飾表現（修飾節＋主名詞）の分類を示しておく。

(1) 名詞修飾節と主名詞の関係による、名詞修飾表現の分類

● 「内容補充による修飾」

：主名詞となるのは一定の内容を持つような名詞であり、修飾節が、主名詞が指すものの内容を表している。

ex. ・今週は雨が続くという予測 ・内閣支持率が低下している（という）事実

● 「関連事態による修飾」

：修飾節が、主名詞が指すものが関わる事態を提示する。

主名詞が指すものは、修飾節の表す事態に何らかの形で位置づけられる。

① 修飾節の事態を構成する成分を主名詞とするもの（主名詞は修飾節述語に対し補語に当たる関係を持つ） いわゆる「内の関係」¹

ex. ・昨夜の会合に出席した人 ・昨日スーパーで買った魚

② 修飾節の事態に付随するものを主名詞とするもの

○修飾節の事態に伴い発生するものを主名詞とするもの

ex. ・脱水機が回る音 ・バイトをしたお金
 ・社長が逮捕された結果 ・社長が逮捕された影響

○修飾節の事態の実現・成立に関わるものを主名詞とするもの

ex. ・海外出張に行く準備
 ・床に就く直前までPCやテレビの画面を見ていると、スムーズに入眠する妨げになってしまう。

○修飾節の事態に潜在的に備わっているものを主名詞とするもの

ex. ・株が流行している背景 ・海外旅行に行った回数

③ 何らかの省略を経ているもの

量、部分、段階、過程に関する名詞を主名詞とする

ex. その場にいた大半がその案に賛成した。私も支持した一人だった。

● 「相対補充による修飾」

：主名詞は位置や時点に関わる相対名詞であり、修飾節が、主名詞が指し示す位置や時点を決める

ex. ・太郎が宿題をしている横で弟は漫画を読んでいた。
 ・大阪に引っ越してくる前は京都に住んでいた。

1. 従来の位置づけ

1-1 いわゆる「内の関係」の表現

「内の関係」の名詞修飾表現の一種として、事態の時を表す二格補語に当たる名詞を主名詞とする表現があることが知られている。

- 寺村(1976) …二格から「底の名詞」への転出についての記述のなかで、「ニ」が表す意味内容の一つ「時点」からの転出も可能だとして、次の実例を挙げている。(下線は引用者による)

- ・巨人の負けるのが楽しみだった時期…

- ・町人たちが確たる社会変革の目標をもつことができなかつた文化文政時代には…

- ・リヨン特有の黄濁した霧がそろそろソーヌ、ローヌの両河から這いあがる季節がやってきたのだ

これらの名詞修飾表現の修飾節と主名詞は次のような関係を有していると見ることができる。

- ・その時期に巨人が負けるのが楽しみだった

- ・文化文政時代に町人たちが確たる社会変革の目標をもつことができなかつた

- ・その季節にリヨン特有の黄濁した霧がそろそろソーヌ、ローヌの両河から這いあがる

- 益岡・田窪(1992) …「補足語修飾節」(「被修飾名詞が連体節中の述語に対する補足語の関係にあるもの」)の例の一つとして、次の表現を挙げている。

- ・花子が旅行に出かけた日(「(その)日に出かけた」という関係)(p. 200)

また、事態の時を表す成分には「ニ」を伴わないものもあるが、それらを主名詞とする名詞修飾表現も可能である。

- ・きのう大阪市内に暴風が吹き荒れた。 →大阪市内に暴風が吹き荒れたきのう

1-2 相対補充による修飾の表現

時間に関する名詞の中に、それ自体は具体的な時点を指し示さず、修飾成分や文脈などに補充されることによって指し示す具体的な時点が決まる名詞類がある。それらは「相対名詞」と呼ばれる。

(「何かの{前、後、前日、翌日、…}」にあたる)

(2) 時間に関する相対名詞

- a. 寺村(1977)に、実例の形で挙げられているもの

- 前、[時間]前、前日、後(のち)、[時間]後、翌日、朝²

- b. 丹羽(2010)に挙げられているもの

- 前、後、次、明るる朝、[時間]後、翌日、[時間]以内、途中、初期、最後

- c. 上記以外

- 前年、直前、寸前、翌{朝、週、月、年、春、など}、直後 など

- (3) ・旅に出る前 ・試験が終了する5分前 ・上京する前年
・レポートを出した後 ・大学を卒業した2年後 ・祖父が亡くなった翌年

(2)のような名詞を主名詞とする(3)のような名詞修飾表現については、例えば次のように考えられている。

- 益岡・田窪(1992) …「相対名詞修飾節とは、被修飾名詞が、連体節中の述語に対する特定の補足語と相対的な関係にある場合をいう。例えば、『花子が旅行に出かける前日』における被修飾名詞『前日』は、『花子が旅行に出かける日』(『(その)日に出かける』という関係)の『前日』であるという意味で、連体節の補足語として機能する『(その)日』と相対的な関係にある。」(p. 202)

- 丹羽(2010) …「主名詞となる名詞が、単独では意味的に自立しない関係概念を表し、修飾部分はその関係を補充するという連体修飾関係を、相対(補充)修飾関係と呼ぶ。」(P. 97)

相対修飾の一種として「(i)位置関係: Y (主名詞) が X (修飾部分) の空間的・時間的な位置を示す関係にあるもの」を挙げ、そのような名詞修飾を受ける名詞として(2)bの名詞を挙げている。

(Ex. 力士は負けた翌日、違うルートから場所入りすると聞いた(負けた日ノ翌日) (p. 96))

以上が、時間に関する名詞を主名詞とする名詞修飾表現として知られるものである。これら「相対補充節による修飾」および「内の関係」の表現については、次のことが言える。

- (4) a. 時間に関する相対名詞は、名詞修飾表現において、相対補充節による修飾を受ける
- b. 時間に関する相対名詞ではない名詞は、「内の関係」の名詞修飾表現において、その名詞がその時点に当たる事態(その時点に起こる出来事、行われる動き、存在する状態など)による修飾を受ける³

1-3 時間節の研究に関して

ところで、「名詞修飾節+時間に関する名詞」という名詞修飾表現は、「時間節」「時の従属節」と呼ばれるものとも一部重なる。「時間節」の研究においては、従属節を形作る形式として、例えば次のような形式が挙げられている。

●田中 2010 の「時間節の三分類」(P. 238)より

〈マエ〉(以前)系 …まえ、以前、ないうちに、より先に、直前、寸前

〈トキ〉(同時)系 …とき、時点で、際、折、頃、時分、最中、合間、間、ているうち、現在、今

〈アト〉(以後)系 …て、てから、て以来、て以降、あと、あとで、あとから、一後、のち、のちに、ところで

「時間節」の研究においては、主に次のようなことが研究対象になっているように見受けられる。

- 時間節が表す事態と主節の事態との関係(同時/期間/前後関係など)
- 時間節が表す事態の時間的な解釈(発話時基準・絶対テンス/主節時基準・相対テンスなど)
- 同じ系列の形式間の異同

2. そのほかの、時間に関する名詞を主名詞とする名詞修飾表現

次のような名詞修飾表現がある。

- (5) 大学生になったある日、恵理菜は妊娠したことに気づくのだが、その相手は家庭を持つ男だった。
mainichi.jp/enta/cinema/mfa/archive/news/2011/20110429mog00m200015000c.html

- (6) 長女が20歳を過ぎたある日、知人から縁談が持ち込まれた。坂本さんは「ご縁があればどなたでも」と快諾した。
http://mytown.asahi.com/nagasaki/news.php?k_id=43000511107010001

- (7) [父が考案し売っていた子供向けの占い(くじ)を、息子が継いだという話]「オヤジさんのネタのうち、PTAから苦情がきそうなものはやめ、新たに私が考えたものを加えたんです」。だが金言……もとい、謹厳実直な父はネタにはうるさく、新作はすべてチェックされた。(略) そして売れ行き好調となったある日、父は息子に言った。「お前のセンスでええんちゃうか」
<http://www.assahi.com/kansai/travel/kansaiisan/OSK201007280121.html>

「ある日」は具体的にどの日とは示さず漠然と「日」を示す語であり、事態の時を表す成分となる。

- (8) ・ふすまや障子に絵を描くと「才能がある」とほめてくれた。ある日、突然やって来た祖父に引き取られ、3年後に父と継母がいる大分の家で暮らし始めた。

mainichi.jp/select/wadai/heiwa/shodo/news/20110809ddm041040057000c.html

・12月にはいつから、鮎太は仕事が忙しくて、一週間程銀河へ顔を出さなかった。すると、ある日、熊さんからの使いが来て、ちょっときて貰いたいと言うことであった。(井上靖『あすなる物語』)

- (5)~(7)においては、「ある日」は修飾節を伴って主節の事態の時を示している。

Cf. (9) 「日」を主名詞とする「内の関係」の名詞修飾表現

- ・ 娘が大学生になった日、家族でお祝いをした。
→ その日(に)娘が大学生になった
- ・ 息子が20歳を過ぎた日、父は息子を飲みに誘った。
→ その日(に)息子が20歳を過ぎた

(5)～(7)の名詞修飾表現は、(9)の名詞修飾表現のように、主名詞とその修飾節とを述定の形にすることができない。(5)'～(7)'は、(5)～(7)とは時間的な意味が異なる。

- (5)' * (その)ある日 (恵理菜が)大学生になった
- (6)' * (その)ある日 長女が20歳を過ぎた
- (7)' * (その)ある日 そして売れ行き好調となった

もともと、「内の関係」の名詞修飾表現が必ず装定→述定の形にできるわけではない。「～た+主名詞」という名詞修飾表現で装定→述定の形にできないものとしては、例えば、時間に関する名詞を主名詞とする表現ではないが、次のような表現がある。

- (10) ・ 着物を着た人 → *その人が着物を着た (cf. その人が着物を着ている)
- ・ 曲がった道 → *その道が曲がった (cf. その道が曲がっている)
- ・ 壁に掛けた絵 → *その絵を壁に掛けた (cf. その絵を壁に掛けてある)

これらの表現の修飾節中の述語タ形は、形容詞的な意味を表しているので、この形のまま述定にすると意味が変わってしまう。

- (11) 来週出席した人は、再来週は休んでもいいです。(丹羽 2001 より。下線は引用者)
→ ?その人が来週出席した

(11)の名詞修飾表現を述定の形にした「その人が来週出席した」は奇妙な表現になる。これは、修飾節中の述語は主節時基準の表現であるためタ形をとり、一方、時を表す成分「来週」は発話時基準の表現であるために、両者を合わせて一つの表現にすると不自然さが生じるためである。

しかし、(5)～(7)は(10)(11)のような例とは異なる。

このような名詞修飾表現についてはどのように考えられるだろうか。

3. 「ある日」を主名詞とする名詞修飾表現

3-1 「～たある日」が表すこと

(5)～(7)の名詞修飾表現を(9)の名詞修飾表現のように述定にできないということは、(5)～(7)中の主名詞「ある日」は(9)の主名詞「日」と異なり、修飾節の事態の時ではないということを意味する。

- (12) (5)の修飾節事態・「ある日」(=主節事態の時)・発話時の時間的前後関係

大学生になる

妊娠に気づく

×

×

【ある日】

発話時

修飾節事態は「ある日」(=主節事態の時)よりも前に成立している。修飾節事態は「ある日」(主節事態の時)に先行し、その点では「～た後」「～てから」といった時間節と共通する。「(恵理菜が)大学生になったある日」とは「(恵理菜が)大学生になったあと (/なって以降)のある日」を意味している。

(6)(7)についても同様のことが言える。これらを見る限りでは「～たある日」という名詞修飾表現は、「修飾節の事態が実現したあと (/実現して以降)の時間の中のある日」を意味している、と言える。

ではこのような名詞修飾表現は、類型としてはどこに位置づけられるだろうか。

- ・ 「内の関係」か? — 「ある日」は修飾節の事態の時を表す成分とは言いにくく、従来の「内の関係」とは異なる。

・「相対補充節による修飾」か？ — 「ある日」は相対性的名詞ではなく、これを修飾する節も相対補充節ではない。

そのほか(1)に示した「内容補充による修飾」や b. ②・③とも考えにくい。かといって、新たな枠組みを設ける必要があるだろうか。

「ある日」を主名詞とする名詞修飾表現をさらに見てみる。

3-2 名詞修飾表現「修飾節＋ある日」の整理

‘修飾節＋ある日’という名詞修飾表現を、修飾節の内容や述語の特徴に注目して整理した。

① 「[節目・出来事] {を過ぎた/が済んだ/が終わった} ＋ある日」

(6) 長女が20歳を過ぎたある日、知人から縁談が持ち込まれた。坂本さんは「ご縁があればどなたでも」と快諾した。
http://mytown.asahi.com/nagasaki/news.php?k_id=43000511107010001

(13) お京にひと目惚れした弦光に請われ、糸七は二人の仲立ちを請け負う。映山の仲介で見合いも済んだある日、大塚場末の糸七の借家に、突然お京が来訪。
(「幻想文学」35号)

(14) バカンスも終わった秋のある日、シャンゼリゼで友人たちと映画を見たあと、二人はカルーゼル庭園まで足を伸ばした。
(野内良三『偶然を生きる思想 「日本の情」と「西洋の理」』)

② 「[出来事]から [期間] (が/を) {流れた/経った/過ぎた} ＋ある日」

(15) やがて、その日から20年の歳月が流れたある日、私は桂浜の県立坂本龍馬記念館の前に立っていました。
mainichi.jp/area/kochi/star/news/20110323ddlk39070754000c.html

(16) 震災から半月ほどたったある日、ベルナさんから「震災に遭われた方々、特に原子炉の近くの方々が非常に気がかりでなりません」とEメールが届き、しばらくして義援金と手紙が来た。
<http://mytown.asahi.com/areanews/nara/OSK201104250160.html>

(17) 局長に就任して何年か経ったある日、朝の業務前に郵便局の周りを掃除していたところ、近くの人から「ついでにうちの近くも掃除してくれんか」と頼まれた。
http://mytown.asahi.com/oita/news.php?k_id=45000251111070001

③ 「[出来事] {後/から/が始まって/を終えて} {間もない/程ない} ＋ある日」

(18) 新チーム結成後間もないある日のグラウンド。部員は渡された紙に意中の名を記し監督の野球帽の中に1票を投じる。
mainichi.jp/senbatsu/archive/news/2011/03/20110312ddm035050062000c.html

(19) 1学期が始まって間もないある日、愛美さんはおでんの食材を買いに行ったスーパーで山下さんとばったり会った。
<http://www.asahi.com/food/news/OSK201012200056.html>

(20) 東北大会を終えてほどないある日、ウワサを聞きつけた加藤が自宅を訪ねてきた。
http://mytown.asahi.com/akita/news.php?k_id=05000801111240005

④ 「[出来事]への接近 ＋ある日」⁴

(21) 2003年の旧門前町議選が迫ったある日、夫と元町議の父に「選挙に出ないか」と誘われた。
http://mytown.asahi.com/ishikawa/news.php?k_id=18000611102100002

(22) 参院選の公示が近づいたある日の夕方、区内に住む障害者や支援者が集まっていた。
http://mytown.asahi.com/tokyo/news.php?k_id=13000651006240001

(23) 今大会、甲子園での1回戦を控えたある日の帰り道、日大三の選手が乗ったバスがコンビニエンスストアに止まった。
<http://www2.asahi.com/koshien/93/wtokyo/news/TKY201108210084.html>

⑤ 「変化の表現 ＋ある日」

(5) 大学生になったある日、恵理菜は妊娠したことに気づくのだが、その相手は家庭を持つ男だった。
mainichi.jp/enta/cinema/mfa/archive/news/2011/20110429mog00m200015000c.html

(7) そして売れ行き好調となったある日、父は息子に言った。「お前のセンスでええんちゃうか」
<http://www.asahi.com/kansai/travel/kansaiisan/OSK201007280121.html>

(24) しかし、小学生の亮太さんは指揮者を目指した。／（略）／が、指揮への興味が薄れたある日、バンドネオンを手にするに。それからは、独学の日々が続く。
mainichi.jp/select/wadai/news/20120129ddm010040036000c.html

⑥「～を続けた／～が【続いた／～てきた】＋ある日」

(25) お見合いで結婚した夫人は好みのタイプと違っていたが好きになる努力を10年続けたある日「ようやく君のことを好きになれたよ」と告白したとか、いろいろ楽しいエピソードも…
<http://www.asahi.com/showbiz/column/animagedon/TKY201104170090.html>

(26) それが続いたある日、湯を煮えたぎらせた。暗くなり始めた頃、叫び声が聞こえた。
http://mytown.asahi.com/kumamoto/news.php?k_id=44000169999990052

(27) そして3月に春の選抜大会を部員全員で観戦し、「夏に向けて」とチームの意識が高まってきたある日、3年だけの話し合いを持った。<http://www2.asahi.com/koshien/localnews/TKY201007190255.html>

(28) 汚れ物が多くなってきたある日「私に洗わせてください」と言うと、いつもは取り付くしまもなく断るのに素直に汚れ物を渡してくれた。http://www.asahi.com/ad/clients/kango2011/epi_cat01.html

⑦「～していた＋ある日」

(29) 美術の非常勤講師をしながら、料亭の仲居を掛け持ちしていたある日、とある客の名刺が目をついた。「きき酒師」と書かれていた。http://mytown.asahi.com/oita/news.php?k_id=45000331109050001

(30) 菓子職人として悩んでいたある日、妻が1枚の航空券を差し出してくれました。本場フランスに行くことを勧めてくれたんです。<http://www.asahi.com/shopping/column/master/TKY201101160115.html>

(31) 廃業ばかり考えていたある日、お客さんのありがたみを痛感する。毎週、毎日、通ってくれる人々のおかげで店がある。
<http://www.asahi.com/food/news/TKY201112240163.html>

⑧「状態述語＋ある日」

(32) 全盲だった母親に厳しく育てられた。小学3年生だったある日、級友たちにいじめられて逃げるように帰宅した。話を聞きつけた母親は…mainichi.jp/enta/sports/news/20120106k0000m050012000c.html

修飾節が表すのは、「ある日」に先行する事態に限らないことがわかる。⑦や⑧の名詞修飾表現に関しては、修飾節事態（～している、～である）は「ある日」にも及ぶ。⑤に関しても、修飾節が示す、「ある日」よりも前に成立した変化の結果は、その後の「ある日」に至るまでも持続しており、「ある日」はいわばその変化の結果の状態を帯びている。⑥に関しても、修飾節が示す動きは「ある日」に至るまでも続いている。

①②③の修飾節は、節目や出来事から時間（長短さまざまであるが）が経過したことを表し、④の修飾節は出来事に近づいていることを表すというように、一見反対のようであるが、いずれも「時間経過」を表しているは共通である。

(33) 「ある日」に対する修飾

a. 時間経過（①～④）

b. 「ある日」よりも前に生じ、「ある日」に至るまで持続している状態（⑤～⑧）

a. で表される「時間経過」は、「ある日」の示す時点と重ならないために「内の関係」に位置づけることは難しい。しかし、「ある日」にも及ぶ状態を表す b. については「内の関係」と隔絶しているわけで

はないのではないかと思える。

4. おわりに –「ある日」以外の時の名詞の修飾について

3-2 で示したことが「ある日」だけに見られる現象であるならば、それはごく限定的な現象にすぎないのであるが、「ある日」以外の時間に関する名詞が、同様の修飾を受けている名詞修飾表現も散見する。

〈時間経過〉

- (34) 還暦を過ぎたいまも若者の力強いパンチをミットで受け止める。⁵

http://mytown.asahi.com/wakayama/news.php?k_id=31000411202130001

- (35) 水銀汚染魚の多食を証明する必要がある、1956 年の公式確認から半世紀余りが経過した今、証明は容易ではない。

mainichi.jp/seibu/shakai/news/20120123ddp041040013000c.html

- (36) だが、約 1 年が経った 15 日、肝移植手術を受けるために再び離脱することが発表されている。

<http://www.asahi.com/sports/fb/world/goal/GOC201203180060.html>

- (37) 東日本大震災から 1 年が経った 11 日午後 2 時 46 分、宮城県女川町の町総合体育館。大型スクリーンに国主催の追悼式の様子が映し出された。

http://mytown.asahi.com/tottori/news.php?k_id=32000001203170002

〈その時点よりも前に生じ、その時点に至るまで持続している状態〉

- (38) そして私も、1 歳と 3 歳の 2 児の母となった今、小さなおにぎり一つしか作れなかった当時の母の気持ちが、なんだかわかる気がする。

mainichi.jp/life/kimochi/archive/news/2011/20111215ddn013070062000c.html

- (39) エースとなった今も背番号は「2」のままだ。

mainichi.jp/enta/sports/baseball/koshien/archive/news/2011/07/27/20110727ddl02050173000c.html

時間に関する名詞に対する修飾節のタイプとして、「時間経過」を表す節、「その時点よりも前に生じ、その時点に至るまで持続している状態」を表す節があるのではないかと言うには、更に検討が必要であり、このような名詞修飾表現の位置づけについても同様であるだろう。

〔注〕

- 1) 以下の記述で①タイプに言及する場合は、よく知られている「内の関係」という名称を用いておく。
- 2) 「朝」のような普通の名詞(相対名詞でない名詞)が相対補充節による修飾を受ける場合((Ex. 「米子に泊った朝」)にはいろいろな条件がある(寺村 1977、白川 1986、加藤 2003 などで検討)。
- 3) 「文化の日である 11 月 3 日」や「会合に予定していた日」など、主名詞が事態に対してガ格(主体)やヲ格(対象)に当たるものも「内の関係」であるが、主名詞がガ格やヲ格に当たるのは名詞を問わずあること(時間に関する名詞特有の現象ではない)ので、ここでは除く。
- 4) 次の表現は、修飾節述語はタ形ではなくル形であるが、修飾節の表す内容から言うと④に当てはまる。
(7) 年末が近づくとある日、ふと思い立った。http://mytown.asahi.com/kumamoto/news.php?k_id=44000169999990101
④のタイプに関しては、修飾節述語をル形に替えることができる。
- 5) 名詞「今(いま)」は、「～ている今」という名詞修飾表現になることも多いが、「～た今」という名詞修飾表現も多く見られる。

〔用例出典〕

例文末尾に示した。asahi.com. の表示のある例は朝日新聞 web 版、mainichi.jp の表示のある例は毎日新聞から採取した。

【参考文献】

- 井上和子(1976)『変形文法と日本語 上』大修館書店
- 工藤真由美(1995)『アスペクト・テンス体系とテキスト』ひつじ書房
- 加藤重広(2003)『日本語修飾構造の語用論的研究』ひつじ書房
- 白川博之(1986)「連体修飾節の状況提示機能」『言語学論叢』5 筑波大学一般応用言語学研究室
- 高橋美奈子(2006)「節による名詞修飾表現の分類の一試案」益岡隆志・野田尚史・森山卓郎編『日本語文法の新地平3 複文・談話編』くろしお出版
- 田中 寛(2010)『複合辞からみた日本語文法の研究』ひつじ書房
- 寺村秀夫(1976)「連体修飾のシンタクスと意味—その2—」『日本語・日本文化』6号 大阪外国語大学研究留学生別科
- (1977)「連体修飾のシンタクスと意味—その3—」『日本語・日本文化』7号 大阪外国語大学研究留学生別科
- (『寺村秀夫論文集I』(1992)くろしお出版 所収)
- 日本語記述文法研究会(2008)『現代日本語文法⑥ 第11部 複文』くろしお出版
- 丹羽哲也(1996)「ル形とタ形のアスペクトとテンス—独立文と連体節—」『人文研究』第48巻第10分冊 大阪市立大学文学部
- (2001)「連体修飾節のテンスとアスペクト」『月刊言語』Vol.30—No.13 大修館書店
- (2010)「相対補充連体修飾の構造 —準体節との対応—」『日本語の研究』第6巻4号
- 橋本 修(1997)「マエ・アト節のトキ解釈」『文藝言語研究 言語篇』32号 筑波大学
- 益岡隆志(2000)『日本語文法の諸相』くろしお出版
- 益岡隆志・田窪行則(1992)『基礎日本語文法 —改訂版—』くろしお出版